

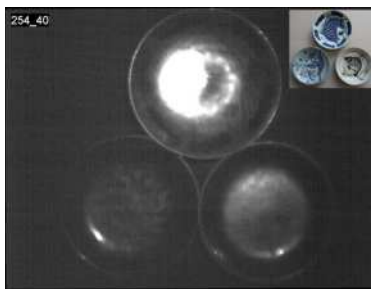
マンスリー 多文化サロン

セブ島で見つかったチョコレート・カップ —イメージング分光による文化財分析を見据えて

2010年、フィリピン・セブ市パリアン地区にある1730年に建てられた旧イエズス会士宅の地下から有田内山で製作されたと見られるチョコレート・カップが見つかった。講演では、大航海時代、このチョコレート・カップをはじめ、太平洋の西と東の間でモノや情報がどのようにやりとりされてきたのか、その謎に迫る。また旧イエズス会士宅でチョコレート・カップと同時に見つかった2万点はあるかという景德鎮や福建省、有田製の陶磁器の「破片」について、最新のイメージング分光技術を用いることでどんなことがわかりそうなのかについてお話ししたい。

宮原 暁（大阪大学 人文学研究科 外国学専攻 教授）

東アジアの人、モノ、情報のコンタクト・ゾーンについて、エスノグラフィの手法を用いて記述しようとしている。



10月20日
開催！

会場は大阪大学
箕面キャンパス
です！

【日時】2022年10月20日（木）19:00-20:00

【場所】大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10

またはオンライン（参加者にはリンクをお知らせします）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります。

【お申込受付期間】2022年10月5日～17日（平日9～17時）

下記のURL／右記のQRコードの登録フォームにて

<https://forms.office.com/r/aViY3vushg>

または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

※18日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。

【参加費】無料



登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター